



NEWS RELEASE

2014年4月1日

東ソー株式会社

社長入社式挨拶（4月1日、東ソー本社での訓示から抜粋）

東ソー株式会社 入社式

日時：2014年4月1日（火）10時より

場所：本社（東京都港区）にて

宇田川 憲一 社長の訓示（要旨）

社会人としての第一歩を踏み出した皆さん、おめでとう。

東ソーで働く仲間の一人として、皆さんを迎えることができ、大変うれしく思っている。

日本経済はアベノミクスによって、昨年度前半は勢い良く回復していたが、後半は消費増税前の駆け込み需要があるものの、前半の勢いが息切れしたように思う。そして今日から消費税増税になった。この影響が4-6月で収まり、7月からは回復に向ってくれることを期待している。当社も円高の苦しみから脱し、昨年度はそれなりの業績になった。今年度から、本格的な上昇気流に乗せたいと思っている。

入社式にあたり、次の4つのことを言うておく。

第一は、皆さんが会社を変える力になってほしいということである。東ソーを含む国内化学会社は、石油化学の縮小、ヘルスケア等への方向転換など、今大きな岐路に立っている。化学産業は昔から、その事業内容を時代に合わせ変えてきているが、ここ数年はその激しさが増している。会社は変化し、成長していかないと死んでしまう。今成功している事業も明日は分からない。元気を出して、会社を変えていこう。若い新入社員の皆さんがその力になってくれることを、大いに期待している。

第二は、会社の仕事はコミュニケーションが大事である。メールや電話による連絡も大事だが、直接会って相手の顔色を見て話すことがもっと大事である。人と話すのが苦手という人もいるかもしれないが、努力してもらいたい。

第三は、所属する部署のプロになるべく早くなってもらいたい。遅くとも3年で、その部署の事はなんでも知っているプロになり、同時に、その部署の事しか知らない蛸壺人間にならないよう、東ソーの動き、他の化学企業の動きや世間一般の動向にも興味を持ってもらいたい。

第四は、外国語の習得である。今後、仕事の場がどんどん外国に広がっていく。日本にいても、英語でのやり取りが増えている。これは技術系も事務系も変わらない。パソコンと同じように英語を扱えるようになってもらいたい。英語は自信あり、という人はぜひ中国語に挑戦してもらいたい。

以上

東ソー株式会社 広報室

東京都港区芝3-8-2 〒105-8623
TEL 03(5427)5103 FAX 03(5427)5195
<http://www.tosoh.co.jp>